

# 世界遺産 × SDGs チャレンジ!

## プレゼンテーション部門 審査結果発表

2021年10月1日（金）～12月24日（金）の期間で開催した世界遺産×SDGsチャレンジ！プレゼンテーション部門は、全国から109チームに応募をいただきました。2022年2月1日（火）、事務局にて厳正なる審査を行い、各探究課題で最優秀賞1チーム、優秀賞3チームが選ばれましたので発表いたします。

### プレゼンテーション部門 探究課題

#### ■ごみ問題（富士山）

富士山周辺のポイ捨てごみを減らす方法を考えよう



#### ■気候変動（グレートバリアリーフ／沖縄）

気候変動からサンゴを守る方法を考えよう



#### ■ユニバーサルツーリズム（日光）

すべての人が日光を楽しく観光できる方法を考えよう



#### ■平和（原爆ドーム）

戦争の記憶の継承方法を考えよう



# ごみ問題（富士山）

## 最優秀賞（1チーム）

- チーム名 お茶の国からこんにちは（星陵中学校・高等学校）
- ・ チームメンバー：土井 あかねさん / 岡 やちるさん
- ・ 企画タイトル：地域と関わりながら富士山の豊かさを後世に伝えるためには

## ■ 審査員より

現地の問題点をよく把握し、個々の問題意識が高く、問題対策については、行動プランが具体的に示されている。なおかつ理想（思い）と現実のすり合わせができており、実現の可能性が高いと感じることのできる素晴らしいプランである。実現に向け、計画を積極的に進めていることも窺い知ることができる。（NPO法人富士山エコネット：三木氏）

「歴史的意義や豊かな自然を後世に残す」「次世代の担い手である高校生にできること」を視点にした提案がありありがとうございました。“伝わるプレゼンテーション”の観点でコメントします。

<良かったところ>

- ・ 提案のきっかけを語り、課題解決策の視点は話し手の必然性が明確であった
  - ・ 話し手は何を行動するかを具体的に示していた
  - ・ 提案者が登場し、自分自身で自分の言葉で伝え、目線もしっかり聴き手へ送っていた
  - ・ マスクをしていても表情豊かに伝えてくれた
  - ・ 事実と意見と感情をバランス良く伝えていた
  - ・ プレゼンのはじまりもおわりも礼儀正しくて好感がもてた
- （一般社団法人プレゼンテーション検定協会：脇谷氏）

事前に富士山エコネットに対してヒアリングを実施し、さらにこの活動に実際に参加する計画を立てるといふ、行動力は大きく評価したい。また企業のエコ活動を詳しく調べており、難しい内容も分かりやすく説明している点もとても良い。今後の活動に期待したい。（国土交通省：飯島氏）

実際に聞いている人に話しかけるようなプレゼンテーションでとても良かったです。また富士山のごみ問題から、リサイクル資源やごみアートなどに解決策を発展させていたことも実現性があり評価できました。投影資料の文字の大きさや内容、表示の仕方などを工夫すると、より視聴者の関心を集めるものになったと思います。（非営利特定法人世界遺産アカデミー：宮澤氏）

# ごみ問題（富士山）

---

## 優秀賞（3チーム）

- チーム名 マウント富士（東邦高等学校）
  - ・チームメンバー：小野田 愛純さん / 近藤 舞さん / 大野 蒼依さん
  - ・企画タイトル：富士山のごみ問題 ポイ捨てを減らすために
  
- チーム名 FULOSHIKI（筑波大学附属坂戸高等学校）
  - ・チームメンバー：荒澤 恭生さん / 富田 治さん / 築瀬 朱音さん
  - ・企画タイトル：SECS project
  
- チーム名 Mt.FUJIS（光英VERITAS中学校・高等学校）
  - ・チームメンバー：五十嵐 千夏さん / 吉松 杏さん  
大塚 桂子さん / 松本 みなみさん
  - ・企画タイトル：富士山のゴミ問題について

# ユニバーサルツーリズム（日光）

## 最優秀賞（1チーム）

- チーム名 ゆきだるまあ〜ず（八戸聖ウルスラ学院中学校・高等学校）
- ・ チームメンバー：笹山 さくらさん / 苫米地 美空さん / 松原 由美さん
- ・ 企画タイトル：地域全体を巻き込んだ観光地づくり

## ■ 審査員より

提案の独自性・具体性が高く、観光だけでなく「住み続けられるまちづくり」にまで提案があった。（日光市役所社会福祉課：阿久津氏）

「地域全体を巻き込んだ観光地づくり」「高校生の立場からできること」を視点にした提案をありがとうございます。「伝わるプレゼンテーション」の観点でコメントします。

<良かったところ>

- ・実際に訪れた報告、手話取り入れなど、提案者自身の視点を自分たちの言葉で伝えていた
  - ・世界遺産とSDGsとの結びつきをプレゼンのはじめに明示したことで集中して内容を聴くことができた
  - ・提案者自らが登場して、手話を交え、聴き手へ視線を送り、笑顔で語りかけていて、双方向のコミュニケーションをしてくれていた
  - ・プレゼンの結論をはじめにもおわりにも述べていることで伝えたいことが明確であった
  - ・プレゼンの締めくくりで語った表現が印象に残り惹き付けられた
- （一般社団法人プレゼンテーション検定協会：脇谷氏）

実際に日光に行き、その目で課題を捉えてきた実行力は素晴らしい。政策への提言だけでなく、高校生自らの立場でできることを入れた点もとても良い。何よりも地域住民がボランティア等を通し、地域を学び、地域の誇りに繋げるという考えは、持続可能な地域を目指すにはとても重要なポイント。プレゼンテーション力を磨くことでさらなる説得力向上につながるはず。（国土交通省：飯島氏）

地域全体を巻き込んだ観光地づくりの中で、車いす利用者以外にも配慮すべき人がいることに着目して解決策を考えている点がとても良かったです。高校生ができる解決策に具体性もありました。また視聴者を意識したプレゼンテーションの仕方がなされていたので、とても聞きやすく内容が頭に入ってきやすかったです。（非営利特定法人世界遺産アカデミー：宮澤氏）

# ユニバーサルツーリズム（日光）

---

## 優秀賞（3チーム）

- チーム名 日光市おうえんし隊（東邦高等学校）
  - ・ チームメンバー：村上 まりあさん / 近藤 千和さん  
濱口 凜さん / 高橋 舞華さん
  - ・ 企画タイトル：全ての人々が日光市を楽しく観光できる方法を考えよう
- チーム名 LazySwan（白鵬女子高等学校）
  - ・ チームメンバー：Rizwan Haniさん / 張 紫葦さん
  - ・ 企画タイトル：旅行者に多様な対応を Nikko for Tourists
- チーム名 RAM（白鵬女子高等学校）
  - ・ チームメンバー：渡邊 歩美さん / 藤田 玲乃さん / 古川 真皓さん
  - ・ 企画タイトル：全ての人々が楽しめる観光づくり～MARCであなたに幸せをお届けします～

# 気候変動（グレート・バリア・リーフ／沖縄）

## 最優秀賞（1チーム）

- チーム名 SBTs（クラーク記念国際高等学校 名古屋キャンパス）
  - ・チームメンバー：松原 宗大朗さん / 田口 裕真さん / 荒川 智仁さん
  - ・企画タイトル：広げろ緑化の輪！みんなで気候変動から珊瑚礁を守ろう！

## ■ 審査員より

講演方式のプレゼンがユニークであり、発表者と受講者を含めた協力体制が評価できたが、スライドの一部が受講者で隠れてしまっていたのが残念だった。発表では実際のアンケート結果なども組み込まれつつ、発表者らのジェスチャーなど動きも加わって受講者にも伝わる工夫と努力が「見える」内容だったため、探究学習とテクニカルを高評価とした。（琉球大学理学部：中村氏）

「花を植えて緑化をする」を視点にした提案をありがとうございました。“伝わるプレゼンテーション”の観点でコメントします。

<良かったところ>

- ・「具体的な解決に至っていない」の問題提起に惹き付けられた
  - ・聴き手に語りかけたり、適度な間があったり、双方向のコミュニケーションを意識している様子がうかがえた
  - ・提案者の話し方は自然な口調でボディランゲージも交えていて集中して内容を聴くことができた
  - ・実際に自分たちが取り組んでいる視点からの課題解決策は提案者の必然性が明確であった
- （一般社団法人プレゼンテーション検定協会：脇谷氏）

テンポよく、重要な点を整理しており、頭に入りやすい説明だった。アンケート調査はよくできており、複数の質問によって体系立てた展開にしておき、とても良い調査結果になったと思われる。ぜひ今後は花を育てること以外にも解決策や調査を行い、自らのできる幅を広げてほしい。よくできた発表・内容であった。（国土交通省：飯島氏）

実際に人前で話していたこともあって、体の動かし方や話し方がとても分かりやすかったです。またCO2削減の方法として花を植えることに絞って、そのメリットを具体的に挙げている点がよかったです。投影資料のフォントや文字の大きさなどを工夫すると、より魅力的な内容になると思います。（非営利特定法人世界遺産アカデミー：宮澤氏）

# 気候変動（グレート・バリア・リーフ／沖縄）

---

## 優秀賞（3チーム）

- チーム名 サーターアンダギー（東海大学附属高輪台高等学校）
  - ・チームメンバー：渡辺 翔夢さん / 秋田 大空さん / 吉田 来流さん
  - ・企画タイトル：気候変動in沖縄県グレート・バリア・リーフの危機
  
- チーム名 ダブルエム（山脇学園中学・高等学校）
  - ・チームメンバー：坂牧 実亜さん / 稲井 美穂さん
  - ・企画タイトル：サンゴの白化現象
  
- チーム名 H&S（白鵬女子高等学校）
  - ・チームメンバー：斎藤 涼花さん / 上野 ひまりさん
  - ・企画タイトル：サンゴを守るために私たちが出来ることは全て行おう！



# 平和（原爆ドーム）

## 最優秀賞（1チーム）

### ■ チーム名 おもちもちもち（青森県立青森南高等学校）

- ・チームメンバー：原田 愛子さん / 黒田 瑞希さん / 葛原 沙紀さん
- ・企画タイトル：平和を考える出前授業プロジェクト

### ■ 審査員より

プレゼンの大部分がスライド中心(スライドを読む)で構成されことを減点対象としたが、音声のスピード・音質・抑揚などは工夫されており、聞き取りやすく、容易に理解できるものであった。また内容については、小学校への出張授業を通じた継承方法が発案されており、高校生がより若い世代である小学生に継承するという新しい継承の形が発案されていることなどを高く評価した。（広島大学平和センター：川野氏）

「高校生から小中学生へ伝えよう！平和を考える出前授業プロジェクト」を視点にした提案をありがとうございました。“伝わるプレゼンテーション”の観点でコメントします。

<良かったところ>

- ・提案する課題解決策を明確かつ具体的に伝えていた
  - ・企画書から、課題解決策をどの様に考えたかが伝わった
  - ・プレゼンでは課題解決策に提案者がどのように関わるのかを明示していた
  - ・探求のきっかけを述べたことで、提案者（話し手）とテーマの関わりが理解できた
  - ・体験者の話を直接聞き、自分たち目線で感想を述べていた
  - ・プレゼン開始時に全員が登場して自己紹介があり、聴き手へアイコンタクトをしながら発声してくれた
- （一般社団法人プレゼンテーション検定協会：脇谷氏）

戦争の記憶について、実際に活動している団体にヒアリングを行い、足で情報を得たことは大変有意義。また、高校生自らの立場で出来ることを考え、語り部となって子供たちに継承していくという発想もとても良い。原爆や戦争をただ継承するのではなく、どうしたら防げるのかという点も調査していたらなお良いと思われる。（国土交通省：飯島氏）

話すスピードも言葉の区切り方もとても素晴らしく、頭に内容がすぐに入ってきました。学生から学生に伝えるということの良い点や注意点などを挙げており、すぐにでも実行できそうです。一方で、資料の内容は素晴らしかったのですが、フォントの種類やサイズ、色など、全体でもう少し統一感を出すと更に良いものになると思います。（非営利特定法人世界遺産アカデミー：宮澤氏）



# 平和（原爆ドーム）

---

## 優秀賞（3チーム）

- チーム名 語り部ヤロウAチーム（クラーク記念国際高等学校 名古屋キャンパス）
  - ・チームメンバー：新美 叡人さん / 熊谷 しんさん / 川畑 祐太さん
  - ・企画タイトル：学生語り部育成案
  
- チーム名 しかなす（桜美林中学校・高等学校）
  - ・チームメンバー：笠井 里紗さん / 中島 奏帆さん  
炭田 結衣さん / 朱 壹麟さん
  - ・企画タイトル：戦争の継承についての探求
  
- チーム名 Toho Towards Peace（東邦高等学校）
  - ・チームメンバー：寺西 美咲さん / 小野寺 成美さん  
徳岡 日菜さん / 後藤 志帆さん
  - ・企画タイトル：戦果の継承